



Taka Ishii Gallery

Photography / Film

5-17-1 2F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan
tel 03 5575 5004
fax 03 5575 5016
web www.takaishiigallery.com
email tigpf@takaishiigallery.com

小平雅尋「他なるもの」

会期：2015年2月7日（土） - 3月7日（土）

会場：タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム

オープニング・レセプション：2015年2月7日（土） 18:00 - 20:00

タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルムでは、2月7日（土）から3月7日（土）まで、小平雅尋個展「他なるもの」を開催いたします。タカ・イシイギャラリーでの初めての個展となる本展では、約14点を展示いたします。「他なるもの」というタイトルは、ドイツの宗教哲学者R.オットーが『聖なるもの』（1917年）の中で、非合理的である聖性の本質として提示した概念「ヌミノーズ（畏怖と魅惑という両義的体験を引き起こす神秘）」を示すために用いた「全く他なるもの」という表現に由来しています。

世界と自分との関係性に「意味のある偶然」が潜むことを感じた小平は、その「偶然」に触れた時の感覚を落とし込み、他者と共有する媒体として写真表現に取り組むようになりました。

…撮影は直感の中にある。…理由がわからなくとも対象から受け取った感覚を信じることで、例えば胃が少し引っ張られるような鈍い違和感、それが過ぎ去る前に撮っておく。ひどく繊細な無意識からの信号は様々なかたちで現れ、方法として確立しないが、撮影を繰り返すことで未知の感覚、又は長い間忘れていた感覚へ降りてゆけるような気がする。

小平雅尋、2013年3月23日

（個展「他なるもの」（2013年）に際し寄せた文章より抜粋、<http://www.kodairam.com/#!text/c5is>）

テーマやモチーフの設定により生じる先入観や合理的な理解を排除したスナップショットの手法で撮り押さえた小平の作品群は、風景写真でも身近雑記でもなく、「日常の社会的な状態にある自身の意識においては気付くことが困難な、生き物としての深い欲望、根源的な謎、畏れといったもの」に対して小平が示した反応の集積であると言えます。

一人でキャンプをしながら誰とも口を利かずに撮影を続けていたり、部屋に居て窓の向こうを眺めている時、突然理由なき恐怖に襲われることがある。何なんだこの世界は。自分の手や体を見下ろしてみても、これは一体何だかと思う。社会などとは無関係に、何故自分が存在しているのかも全くわからぬまま、この世界に無防備に晒されているという、外界に対する強い畏れの感覚と、同時に現れる恍惚。

小平雅尋、2013年3月23日

（個展「他なるもの」（2013年）に際し寄せた文章より抜粋、<http://www.kodairam.com/#!text/c5is>）

点在する要素を感覚的に収めた写真を意識的に見るという行為は、無意識と意識の邂逅をもたらし、偶然以上の何かを探求する契機となります。2箇所同時開催（詳細次ページ）となる本展覧会において小平は、自身の直感が反応する要素を陰と陽に分けて作品を展示することで、「他なるもの」を2つの系統としてとらえなおす試みを行っており、本展は作家のこれまでの活動の一つの集大成であるとする事が出来るでしょう。

1972年東京都生まれの小平雅尋は、東京造形大学デザイン学科写真コース在学中より（1997年卒業）、高梨豊、田村彰英らに写真を学び、銀塩写真による表現の可能性を探求し始めました。また、写真家・大辻清司のアーカイブを目的に1996年に有志で結成された「写真実験室の会」にコアメンバーとして参加し、1950年代から80年代に撮影された大辻のネガからのモダンプリント制作及び展示企画に携わりました。2011年には出版レーベル・シンメトリーを設立。同年、作品集「ローレンツ氏の蝶」を刊行。茨城県立つくば美術館、東京アートミュージアム、世田谷美術館区民ギャラリーなどでグループ展に参加している他、1996年より定期的に個展を行っています。主な個展に「ローレンツ氏の蝶」（アイデムフォトギャラリー・シリウス、東京、2002年）、「続きの代わり

に」(月光荘、東京、2009年)、「他なるもの」(表参道画廊、東京、2013年)など。

本展と同時開催の展覧会「他なるもの」をプラザ・ギャラリーにて下記の通り開催いたします。

小平雅尋「他なるもの」

会期：2015年2月7日(土) - 3月1日(日) 水曜休廊 10:00 - 18:30

会場：プラザ・ギャラリー(東京都調布市仙川町1-24-1)

オープニング・レセプション：2月7日(土) 13:00 - 15:00

また、本展開催を記念し、新たに作品集を刊行いたします。

【作品集詳細】

小平雅尋『他なるもの』

販売価格：3,000円(税抜)、タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム刊(2015年)

ソフト・カバー、36頁、掲載図版28点、H26.8 x W21 cm、0.2kg

倉石信乃によるエッセイ収録(英語・日本語)

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願いいたします。

尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム

展覧会・プレス担当：菊竹 寛

〒106-0032 東京都港区六本木5-17-1 AXISビル2F tel: 03-5575-5004 fax: 03-5575-5016

e-mail: tigpf@takaishiigallery.com website: www.takaishiigallery.com

営業時間：11:00-19:00 定休日：日・月・祝日



小平雅尋

「Untitled / Kayabacho, Tokyo 2013. 6. 10」

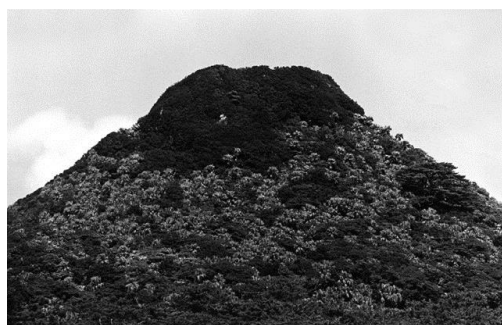
2013年

ゼラチン・シルバー・プリント

イメージサイズ：35 x 52.6 cm

ペーパーサイズ：43.2 x 60.8 cm

© Masahiro Kodaira



小平雅尋

「Untitled / Takarajima, Kagoshima 2009. 7. 21」

2009年

ゼラチン・シルバー・プリント

イメージサイズ：22 x 33.3 cm

ペーパーサイズ：27.7 x 35.6 cm

© Masahiro Kodaira